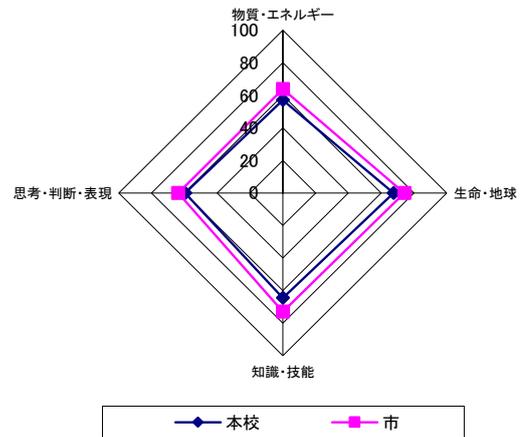


宇都宮市立錦小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	57.0	63.8	61.6
	生命・地球	67.6	74.1	73.3
観点別	知識・技能	64.5	73.0	71.3
	思考・判断・表現	59.6	63.8	62.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は57.0%で、市より6.8ポイント低かった。 ○実験の方法と結果からふりこの条件を推測する問題では、正答率が61.7%で市より6.6ポイント高かった。 ●ごみ処理場での電磁石の利用方法から電磁石の性質を指摘する問題では、正答率が48.9%で市より16.6ポイント低かった。 ●水に食塩を溶かしても、合計の重さが変わらないことの理解を問う問題では、正答率が51.1%で市より24.5ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい実験方法やグラフの読み取りなど、実験・観察の技能を身に付けるとともに、実験結果の数値を計算して考察まで導くことができるよう、計算の仕方も復習する。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は67.6%で、市より6.5ポイント低かった。 ○月、太陽、地球の位置関係と、月の見える形について理解しているか問う問題では、正答率が76.6%で市より4.1ポイント高かった。 ●浸食についての理解を問う問題では、正答率が46.8%で市より14.6ポイント低かった。 ●脈拍についての理解を問う問題では、正答率が31.9%で市より29.3ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 流れる水のはたらきや動物のからだのつくりとはたらきについて、自主的に調べる時間を十分に確保し、図や表などを利用してまとめたり、考察を記入したりする活動を積極的に取り入れ、理解の定着を図る。